

# Oracle Enterprise Manager

Oracle Change Management Pack, Oracle Diagnostics Pack, Oracle Tuning Pack  
インストール・ガイド

リリース 2.2

2000 年 11 月

部品番号 : J02263-01

---

Oracle Change Management Pack, Oracle Diagnostics Pack, Oracle Tuning Pack インストール・ガイド  
リリース 2.2

部品番号 : J02263-01

原本名 : Installation Guide for Oracle Enterprise Manager with Change Management, Diagnostics, and  
Tuning Packs, Release 2.2 for Windows NT, Windows 95 and Windows 98

原本部品番号 : A85215-01

Copyright © 1996, 2000, Oracle Corporation. All rights reserved.

Printed in Japan.

制限付権利の説明

プログラム（ソフトウェアおよびドキュメントを含む）の使用、複製または開示は、オラクル社との契約に記された制約条件に従うものとします。著作権、特許権およびその他の知的財産権に関する法律により保護されています。

当プログラムのリバース・エンジニアリング等は禁止されています。

このドキュメントの情報は、予告なしに変更されることがあります。オラクル社は本ドキュメントの無謬性を保証しません。

\* オラクル社とは、Oracle Corporation（米国オラクル）または日本オラクル株式会社（日本オラクル）を指します。

危険な用途への使用について

オラクル社製品は、原子力、航空産業、大量輸送、医療あるいはその他の危険が伴うアプリケーションを用途として開発されておりません。オラクル社製品を上述のようなアプリケーションに使用することについての安全確保は、顧客各位の責任と費用により行ってください。万一かかる用途での使用によりクレームや損害が発生いたしましても、日本オラクル株式会社と開発元である Oracle Corporation（米国オラクル）およびその関連会社は一切責任を負いかねます。当プログラムを米国国防総省の米国政府機関に提供する際には、『Restricted Rights』と共に提供してください。この場合次の Notice が適用されます。

Restricted Rights Notice

Programs delivered subject to the DOD FAR Supplement are "commercial computer software" and use, duplication, and disclosure of the Programs, including documentation, shall be subject to the licensing restrictions set forth in the applicable Oracle license agreement. Otherwise, Programs delivered subject to the Federal Acquisition Regulations are "restricted computer software" and use, duplication, and disclosure of the Programs shall be subject to the restrictions in FAR 52.227-19, Commercial Computer Software - Restricted Rights (June, 1987). Oracle Corporation, 500 Oracle Parkway, Redwood City, CA 94065.

このドキュメントに記載されているその他の会社名および製品名は、あくまでその製品および会社を識別する目的にのみ使用されており、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

---

# 目次

はじめに .....	iii
<b>1 開始前の準備</b>	
Oracle Enterprise Manager の 3 層フレームワーク .....	1-1
ハードウェア要件とソフトウェア要件 .....	1-3
インストール可能なコンポーネント .....	1-4
<b>2 Oracle Enterprise Manager および Management Pack のインストール</b>	
Oracle Universal Installer とは .....	2-1
Oracle Universal Installer の使用方法 .....	2-2
インストール場所の指定 .....	2-2
インストールするトップ・レベル・コンポーネントの選択 .....	2-3
Oracle Management Server リポジトリの選択 .....	2-5
インストール・サマリーの表示 .....	2-5
インストール後の構成 .....	2-6
<b>3 Oracle Enterprise Manager および Management Pack の削除</b>	
コンポーネント削除時の Oracle Universal Installer の使用方法 .....	3-1



---

---

# はじめに

このマニュアルでは、Oracle Change Management Pack、Oracle Diagnostics Pack および Oracle Tuning Pack をインストールするための概要、インストール、インストール後の情報および構成に関する情報を説明します。

このマニュアルでは、次の項目を説明します。

- Oracle Enterprise Manager の 3 層フレームワーク
- ハードウェア要件とソフトウェア要件
- インストール可能なコンポーネント
- Oracle Enterprise Manager および Management Pack のインストール
- Oracle Enterprise Manager および Management Pack の削除

---

---

**重要：** インストール前に、Oracle Change Management Pack、Oracle Diagnostics Pack、Oracle Tuning Pack の各日本語リリース・ノートを参照してください。

---

---

# 関連資料

製品をインストールした後、インストールした各コンポーネントのドキュメントを参照し、インストール後の構成情報を確認してください。（必ずしもすべてのコンポーネントにインストール後の構成が必要ではないことに注意してください。）次の表に、Oracle Enterprise Manager および Management Pack で現在入手可能なドキュメントを示します。

必要な情報	参照先
Oracle Enterprise Manager コンソール	Oracle Enterprise Manager ドキュメント・セット 『Oracle Enterprise Manager 日本語リリース・ノート』 『Oracle Enterprise Manager 管理者ガイド』 『Oracle Enterprise Manager メッセージ・マニュアル』 『Oracle Enterprise Manager 構成ガイド』 『Oracle Enterprise Manager 概説』 『Oracle Intelligent Agent ユーザーズ・ガイド』
Oracle Change Management Pack	『Oracle Change Management Pack スタート・ガイド』
Oracle Diagnostics Pack	Oracle Diagnostics Pack ドキュメント・セット 『Oracle Diagnostics Pack スタート・ガイド』 『Oracle Enterprise Manager Oracle Trace ユーザーズ・ガイド』
Oracle Tuning Pack	『Oracle Tuning Pack によるデータベース・チューニング』

---

## 開始前の準備

Change Management Pack、Diagnostics Pack および Tuning Pack CD-ROM に含まれているコンポーネントのインストールを開始する前に、必ずこの章をお読みください。Oracle Enterprise Manager の 3 層アーキテクチャの背景にある基本的概念、ハードウェアとソフトウェアの要件およびそれぞれのインストールに使用できるコンポーネントを理解できます。

---

**重要：** Oracle Change Management Pack、Oracle Diagnostics Pack および Oracle Tuning Pack は、別途ライセンスの必要なコンポーネントです。ライセンスを得るための詳細は、貴社担当の販売員にお問い合わせになるか、またはオンライン Oracle Store (<http://oraclestore.oracle.com>) にアクセスしてください。

---

## Oracle Enterprise Manager の 3 層フレームワーク

Oracle Enterprise Manager のアーキテクチャは、3 層フレームワークで構成されています。2 層のクライアントサーバー構造と異なり、3 層アーキテクチャは、エンタプライズ環境に対する信頼性、拡張性および障害耐性を提供します。Oracle Enterprise Manager は、次の 3 つの層で構成されています。

■ コンソールおよび管理アプリケーション： 第 1 層

第 1 層は、次のグラフィカル・ユーザー・インタフェース管理アプリケーションを提供します。

- Enterprise Manager コンソール (GUI ベース管理アプリケーション)
- 全ての管理タスク用管理ツール
- Oracle Management Pack アプリケーション

■ Oracle Management Server: 第 2 層

第 2 層は、コンソールから送られるシステム管理タスクを処理します。この層は、コンソール（第 1 層）と管理対象ノード（第 3 層）間に集中型のインテリジェンス機能と分散制御を提供します。第 2 層には、次のものが含まれています。

- 1 つ以上の Oracle Management Server
- システム・データ、アプリケーション・データ、管理対象ノードの状態情報、および任意の System Management Pack に関する情報が格納されているリポジトリ

---

**注意：** 中間層に複数の Oracle Management Server をインストールする場合でも、必要なリポジトリは 1 つです。Management Server は、信頼性および障害耐性を提供するために 1 つのリポジトリの情報を共有できます。

---

■ データベースおよび他のサービスを含む管理対象ノード： 第 3 層

管理対象ノードは、管理するデータベースおよびその他のサービスで構成されるネットワーク上の任意のマシンです。管理対象ノードは、次の構成になります。

- データベース
- サービス（Oracle Intelligent Agent およびデータ収集サービスなど）

3 層アーキテクチャには柔軟性があり、それぞれの層を環境に合わせて同じマシンまたは別のマシンにインストールできます。ただし、Oracle Management Server（中間層）を、安定したノードにインストールすることが重要です。

Oracle Enterprise Manager の 3 層フレームワークの詳細は、『Oracle Enterprise Manager 概説』を参照してください。



## ハードウェア要件とソフトウェア要件

Oracle Enterprise Manager および Management Pack アプリケーションのインストールを開始する前に、ハードウェアとソフトウェアの要件の表を参照してください。Oracle Enterprise Manager コンポーネントは、管理環境に応じてどのような構成でも実行できます。次の表に、基本要件を示します。

**表 1-1 Oracle Enterprise Manager および Management Pack のシステム要件**

要件	Oracle Enterprise Manager クライアントおよび Oracle Management Pack	Management Server	Oracle Enterprise Manager クライアント、 Oracle Management Pack および Management Server
オペレーティング・システム <sup>1</sup>	Windows NT 4.0、 Windows 95、Windows 98	Windows NT 4.0、 Solaris 2.6 または 2.7	Windows NT 4.0、 Windows 95、Windows 98  (Management Server に 必要な Windows NT 4.0 または Solaris)
Windows NT 4.0 Service Pack	Service Pack 4.0 以上	Service Pack 4.0 以上	Service Pack 4.0 以上
推奨プロセッサ	Pentium 266 または SPARC 20	Pentium II 300	Pentium II 400 または SPARC Ultra 1
RAM	128MB	128MB	256MB
ハード・ディスク	190MB	150MB	190MB (NTFS) <sup>2</sup>

<sup>1</sup> Oracle Enterprise Manager コンソールは、Solaris 2.6 または 2.7 マシンにもインストールできます。Web ブラウザからの Enterprise Manager コンソール実行には、128MB の RAM が必要です。Web サイトおよび Oracle Apache HTTP サーバーの実行には、102MB 必要です。

<sup>2</sup> FAT では、NTFS の 4 倍のディスク領域を消費します。190MB には、リポジトリの構成に必要な 6 ～ 26MB が含まれます。

---

**注意：** 前述の要件は、Oracle Enterprise Manager に対するデータベース・リポジトリがすでに存在するものと想定しています。データベースがインストールされていない場合、データベースをインストールする必要があります。Oracle データベースにお勧めするシステムとハードウェアの要件については、データベース用のインストレーション・ガイドを参照してください。

---

# インストール可能なコンポーネント

次の表は、この CD-ROM で使用可能な全てのコンポーネントを示します。インストール時の選択に基づいてインストールされるコンポーネントの詳細は、2-3 ページの「[インストールするトップ・レベル・コンポーネントの選択](#)」を参照してください。

コンポーネント	バージョン
Oracle Enterprise Manager (3 つの主要コンポーネントを含む)	2.2.0.0.0
1. Oracle Enterprise Manager Client	2.2.0.0.0
■ Oracle Enterprise Manager コンソール	2.2.0.0.0
■ Oracle DBA Management Pack	2.2.0.0.0
Oracle DBA Studio	2.2.0.0.0
Oracle Instance Manager	2.2.0.0.0
Oracle Schema Manager	2.2.0.0.0
Oracle Security Manager	2.2.0.0.0
Oracle Storage Manager	2.2.0.0.0
SQL *Plus Worksheet	2.2.0.0.0
■ Oracle Enterprise Manager 統合アプリケーション	2.2.0.0.0
Oracle Parallel Server Manager	2.2.0.0.0
Oracle <i>inter</i> Media Text Manager	2.2.0.0.0
Oracle Replication Manager	2.2.0.0.0
Oracle Applications Manager	2.2.0.0.0
Oracle Applications Server Manager	2.2.0.0.0
Oracle Developer Server Forms Manager	2.1.0.0.0
Oracle Spatial Index Advisor	2.2.0.0.0
Oracle Directory Manager	2.1.1.0.0
Oracle Enterprise Security Manager	2.0.0.1.0
■ Oracle Enterprise Manager Quick Tour	2.2.0.0.0
Oracle Enterprise Manager Quick Tour	2.2.0.0.0
Oracle DBA Management Pack Quick Tour	2.2.0.0.0
Oracle Change Management Pack Quick Tour	2.2.0.0.0
Oracle Diagnostics Pack Quick Tour	2.2.0.0.0

コンポーネント	バージョン
Oracle Tuning Pack Quick Tour	2.2.0.0.0
Oracle Management Pack for Oracle Applications Quick Tour	2.2.0.0.0
Oracle Standard Management Pack Quick Tour	2.2.0.0.0
2. Oracle Intelligent Agent	8.1.7.0.0
Paging Service Agent Extensions <sup>1</sup>	8.1.7.0.0
3. Oracle Management Server	2.2.0.0.0
■ Oracle Enterprise Manager Configuration Assistant	2.2.0.0.0
■ Oracle Enterprise Manager Migration Assistant	2.2.0.0.0
Java Runtime Environment	1.1.7.30.0
Net8 Client	8.1.7.0.0
■ Net8 Assistant	8.1.7.0.0
■ Net8 Configuration Assistant	8.1.7.0.0
Oracle Universal Installer (OUI)	1.7.0.19.0
Oracle Enterprise Manager Web サイト <sup>2</sup>	2.2.0.0.0
*Oracle Change Management Pack <sup>3</sup>	2.2.0.0.0
Baseline Viewer	2.2.0.0.0
Change Manager	2.2.0.0.0
DB Alter	2.2.0.0.0
Create Baseline	2.2.0.0.0
Compare Database Objects	2.2.0.0.0
DB Propagate	2.2.0.0.0
DB Quick Change	2.2.0.0.0
Find Database Objects	2.2.0.0.0
Plan Editor	2.2.0.0.0
Oracle Change Management Pack 英語ドキュメント	2.2.0.0.0
*Oracle Diagnostics Pack	2.2.0.0.0
Oracle Advanced Events	2.2.0.0.0
Oracle Capacity Planner	2.2.0.0.0

コンポーネント	バージョン
Oracle Performance Manager	2.2.0.0.0
Oracle TopSessions	2.2.0.0.0
Oracle Trace Manager	2.2.0.0.0
Oracle Trace Data Viewer	2.2.0.0.0
SQL Server Monitoring Option	2.2.0.0.0
Oracle E-Business Tools <sup>4</sup>	2.2.0.0.0
Oracle Diagnostics Pack 英語ドキュメント	2.2.0.0.0
*Oracle Tuning Pack	2.2.0.0.0
Oracle Expert	2.2.0.0.0
Oracle Index Tuning Wizard	2.2.0.0.0
Oracle SQL Analyze	2.2.0.0.0
Oracle Tablespace Map	2.2.0.0.0
Reorg Wizard	2.2.0.0.0
Oracle Tuning Pack 英語ドキュメント	2.2.0.0.0

<sup>1</sup> Oracle Enterprise Manager のポケットベル機能を使用するには、Oracle Intelligent Agent リリース 8.1.7 の Oracle ホームに Paging Service Agent Extensions をインストールします。これら拡張機能のその他の Oracle ホームへのインストールは、サポートされていません。

<sup>2</sup> Oracle Enterprise Manager Web Site は、カスタム・インストールからのみインストールできます。Web サイトは、ブラウザで Oracle Enterprise Manager コンソールを起動できるようにします。Management Pack では、ブラウザが使用可能になっていません。

<sup>3</sup> **重要：** ‘\*’ の印の付いた Oracle Management Pack は、別途販売され、個別にライセンスが必要です。

<sup>4</sup> Oracle E-Business Tools では、バージョン 5 以上の PERL が必要です。Oracle E-Business Tools では、1.3.9 以上の Apache HTTP サーバーおよび Oracle i AS（インターネット・アプリケーション・サーバー）が必要です。

---

# Oracle Enterprise Manager および Management Pack のインストール

この章では、Oracle Enterprise Manager および Management Pack コンポーネントのインストール方法の概要を説明します。

説明する具体的なトピックは、次のとおりです。

- [Oracle Universal Installer とは](#)
- [インストール場所の指定](#)
- [インストールするトップ・レベル・コンポーネントの選択](#)
- [Oracle Management Server リポジトリの選択](#)
- [インストール・サマリーの表示](#)
- [インストール後の構成](#)

## Oracle Universal Installer とは

Oracle Universal Installer は、CD-ROM から Oracle コンポーネントをインストールするための Java ベースのツールです。Oracle Universal Installer は、次の機能を提供します。

- コンポーネントおよびスイートのインストール
- 各国語 / グローバリゼーションのサポート
- インストール済コンポーネントの削除
- 複数の Oracle ホームのサポート

Oracle Universal Installer は、本来、特定情報のプロンプト画面をすべてウォークスルーするインストール・ウィザードです。次の項では、Oracle Universal Installer を使用した一般的インストールについて説明しています。

# Oracle Universal Installer の使用方法

「ようこそ」画面は、Oracle Universal Installer 開始時に最初に表示される画面です。「ようこそ」画面から、次のことができます。

- 「製品の削除 ...」 ボタンをクリックして、インストール済 Oracle 製品を削除
- 「Oracle Universal Installer について ...」 ボタンをクリックして、このリリースの Oracle Universal Installer の詳細情報を入手

すべての「Oracle Universal Installer」画面から次のことができます。

- 「インストール済の製品 ...」 ボタンをクリックして、インストール済 Oracle 製品情報を入手
- 「終了」 ボタンをクリックして、インストール・プロセスを終了
- 「ヘルプ」 ボタンをクリックして、特定の「Oracle Universal Installer」画面のヘルプを表示
- 「戻る」 ボタンをクリックして、前の画面へ移動
- 「次へ」 ボタンをクリックして、次の画面へ移動

## インストール場所の指定

Oracle Universal Installer の「ファイルの場所」画面では、インストール先として使用する Oracle ホームの名前と場所の入力を求められます。既存のシステム設定に基づくいくつかのインストール・オプションがあります。次の表に、一般的なインストール先のオプションを示します。

---

---

**注意：** 従来の Oracle Installer（リリース 7.x および 8.0.x で出荷された Oracle Installer）では、リリース 8.1 の Oracle ホーム・ディレクトリヘコンポーネントをインストールできません。同様に、リリース 8.1.7 のコンポーネントは、リリース 7.x、8.0.x、8.1.3 または 8.1.4 の Oracle ホームへインストールできません。

---

---

インストールする製品	インストール・オプション
Oracle Enterprise Manager および Management Pack	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 既存のリリース 8.1.7 の Oracle ホームへインストール</li> <li>■ 新しい Oracle ホームへインストール</li> </ul>
1 つまたは複数の Management Pack <sup>1</sup>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ Oracle Enterprise Manager リリース 2.2 を含む、既存のリリース 8.1.7 の Oracle ホームへインストール</li> <li>■ 新しい Oracle ホームへインストール</li> </ul>
Oracle Enterprise Manager のみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 既存のリリース 8.1.7 の Oracle ホームへインストール</li> <li>■ 新しい Oracle ホームへインストール</li> </ul>

<sup>1</sup> Oracle Enterprise Manager リリース 2.2 (ベース・コンソール) は、指定の Oracle ホームに既存のリリース 2.2 が存在しない場合、自動的にインストールされます。

---

**重要：** Enterprise Manager リリース 2.2 は、1 台のマシンに 1 つのみインストールできます。すでに Enterprise Manager リリース 2.2 をインストール済の場合には、必ず Management Pack を既存の Oracle ホームへインストールしてください。Oracle8i または 8.1.7 が複数インストールされている場合には、Management Pack をインストールする前に必ず、Enterprise Manager の不要なコピーをすべて削除してください。

---

## インストールするトップ・レベル・コンポーネントの選択

Oracle Universal Installer では、Change Management Pack、Diagnostics Pack および Tuning Pack Oracle Enterprise Manager CD-ROM に含まれているコンポーネント全体またはその一部をインストールできます。「使用可能な製品」画面では、次の 2 つのトップ・レベル・コンポーネント・オプションが提供されます。

- Oracle Enterprise Manager Pack および Management Infrastructure 2.2.0.0.0
- Oracle Enterprise Manager Packs 2.2.0.0.0

第 1 章では、この CD-ROM で提供されているすべてのコンポーネントについて説明します。この章では、行われたインストール選択に基づいてインストールされるコンポーネントを明らかにします。両方のトップ・レベル・コンポーネント・オプションでは、「インストール・タイプ」画面から「標準」または「カスタム」インストールのいずれかを選択できます。次の表は、2 つのトップ・レベル・コンポーネント・オプションおよびそれらのインストール・タイプを示しています。

トップ・レベル・コンポーネント インストール・タイプ	
Oracle Enterprise Manager Pack および Management Infrastructure 2.2.0.0.0	<b>標準<sup>1</sup></b>  Oracle Enterprise Manager、DBA Management Pack、Diagnostics Pack、Tuning Pack、Change Management Pack および Oracle Management Server をインストールします。
	<b>カスタム</b>  インストールするコンポーネントを選択できます。このオプションは、Oracle Enterprise Manager Web サイトをインストールする場合に選択します。Web サイトは、Oracle Enterprise Manager コンソールの起動に使用できます。(Management Pack では、ブラウザは使用可能ではありません。)
Oracle Enterprise Manager Packs 2.2.0.0.0	<b>標準</b>  Oracle Enterprise Manager、DBA Management Pack、Diagnostics Pack、Tuning Pack および Change Management Pack をインストールします。このトップ・レベル・コンポーネントは、既存の Oracle Management Server を使用する場合に選択します。
	<b>カスタム</b>  インストールするコンポーネントを選択できます。

<sup>1</sup> 各 Management Pack に関連するすべてのコンポーネントの詳細は、1-4 ページの「[インストール可能なコンポーネント](#)」を参照してください。



## Oracle Management Server リポジトリの選択

インストールするトップ・レベル・コンポーネントとして、Oracle Enterprise Manager Pack および Management Infrastructure 2.2.0.0.0 を選択した場合、Oracle Universal Installer により、Oracle Management Server で既存のリポジトリを使用するか、または新しいリポジトリを作成するかを指定するように求められます。次の表は、それぞれのオプションの説明です。

選択	状況
既存のリポジトリ	すでに別の Oracle Management Server をインストールし、リポジトリを作成済の場合には、この Oracle Management Server で同じコンピュータを管理することができます。これで、リポジトリを共有できます。
新規のリポジトリ	別の Oracle Management Server またはリポジトリをインストールしていない場合、または完全に独立した管理セットアップが必要な場合。

---

**注意：** インストールするトップ・レベル・コンポーネントとして、Oracle Enterprise Manager Pack および Management Infrastructure 2.2.0.0.0 を選択した場合、インストール後に Oracle Enterprise Manager Configuration Assistant が自動的に起動します。詳細は、『Oracle Enterprise Manager 構成ガイド』を参照してください。

---

## インストール・サマリーの表示

インストール・オプションのすべてを設定した後、Oracle Universal Installer は、インストールするすべての製品を示す「サマリー」画面を表示します。このサマリーにより、インストールするコンポーネントがすべて含まれていることを確認できます。インストールするコンポーネントがすべてサマリーに含まれていることを確認した後、「インストール」ボタンをクリックしてインストールを開始します。

---

**注意：** それぞれのインストールの終わりに Net8 Configuration Assistant が起動されます。このウィザードを使用すると、Oracle Management Server を使用せずにデータベース直接接続を設定する tnsnames.ora ファイルを構成できます。この時点で tnsnames.ora ファイルを構成しないか、または接続に Oracle Management Server を使用する場合には、「取消」をクリックしてウィザードを閉じます。

---

## インストール後の構成

インストール完了後も Management Pack アプリケーションを使用する前に行う追加の構成タスクがいくつか存在します。インストール後の構成の詳細は、インストールしたそれぞれの Pack に関するドキュメントを参照してください。（コンポーネントの中には追加の構成タスクが必要ないものがあるので注意してください。）

これらの Management Pack に使用可能なドキュメントの詳細は、iv ページの「[関連資料](#)」を参照してください。

---

# Oracle Enterprise Manager および Management Pack の削除

Oracle 製品を削除する最良の方法は、Oracle Universal Installer の削除オプションを使用することです。Oracle Universal Installer では、特定の製品が削除された場合に問題が生じる製品の依存関係を警告し、削除の確認を求めます。

## コンポーネント削除時の Oracle Universal Installer の使用方法

Oracle 製品を削除するには、次のようにします。

1. 「スタート」メニューから Oracle Universal Installer を起動します。

Oracle Universal Installer の「ようこそ」画面が表示されます。

2. 「製品の削除 ...」 ボタンをクリックします。

「インベントリ」画面が表示されます。

3. 削除する製品を選択し、「削除」ボタンをクリックします。

製品およびそれに依存するコンポーネントを削除するかどうかを尋ねる別の画面が表示されます。

4. 「はい」ボタンをクリックします。

---

**注意：** Java Runtime Environment (JRE) は、それに依存する製品が 1 つでも残っている場合は、削除しないでください。

---

